

大項目	中項目	小項目	大学 自己評価	検証 結果	委員 人数	評価委員の判断理由 評価↑(評価した理由 等) 評価↓(評価しなかった理由、説明不足 等)
第2 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置						
1 教育に関する目標を達成するための措置						
(1)教育の成果に関する目標を達成するための措置						
ア 学部教育						
資料P1	(7)-1	a	III			
		b	III			
		c	III			
資料P2	(7)-2	a	III	IV	2	実習参加者増(20年度206名→21年度240名)を評価します。前年同様、継続して成果を上げた。
		b	III			
資料P3	(7)-3	a	III			
		b	III			
	(イ)-1	a	III			
		b	III			
	(イ)-2	a	II			国家試験(Ⅲにならず)。看護師・助産師の国家試験合格率は100%達成なので、Ⅲにしたいところですが、医師のほうが低すぎますね。
		b	III			
資料P4	(ウ)-1	a	III			
		b	III			
		c	III			
	(7)-2	a	III			
		b	III			
資料P5	(イ)-1	a	III	IV	1	臨床実習における実習病院の増加と期間延長を評価します。
		b	III	IV	1	臨床実習における実習病院の増加と期間延長を評価します。
		c	III	IV	1	医療体験実習の充実を評価(保健看護学部)します。
	(イ)-2	a	III	II	1	安全講習会が日本語のみで行われ、留学生が内容をきちんと理解したかどうかの検証が不十分。
		b	III	IV	2	香港中文大学との学生交換を始めた。学生交流の充実を評価します。
イ 大学院教育						
資料P6	(7)-1		III	IV	1	ネット公開を評価します。
			III	IV	1	「研究者の倫理」「遺伝子組換え実験安全管理」講義を評価します。
			-			
		(イ)-1	III	IV	1	研究方法、解析技術等に関する学内外の講師の招聘を評価します。
		(イ)-2	III			
		(イ)-3	a	III	IV	1
	b	III	IV	1	倫理講座の必修化を評価します。	
ウ 専攻科教育						
資料P7	(7)	a	III	IV	1	選択科目を配置して全員が履修
		b	III	IV	1	選択科目を配置して全員が履修
		c	IV			IV変わらず(保健看護学部)国家試験。前年に同様、成果を上げた。
	(イ)	a	III			
		b	III			
	(ウ)	III	IV	1	開業助産師との交流を評価します。	
(2)教育内容等に関する目標を達成するための措置						
ア 学部教育						
(7)入学者受入れ及び入学者選抜を実現するための具体的方策						
資料P8	a-1	(a)	III			Ⅲ変わらず(後期試験とりやめ)
		(b)	III	IV	1	入学者の追跡調査により選抜方法との関連を明らかにした結果、後期試験の廃止につなげた。入学者の6年間の追跡調査の内容とは？
		a-2	III			
		b	(a)	III		
	(b)	III				

大項目	中項目	小項目	大学 自己評価	検証 結果	委員 人数	評価委員の判断理由 評価↑(評価した理由 等) 評価↓(評価しなかった理由、説明不足 等)			
			(イ)教育理念等に応じた教育課程を編成するための具体的方策						
			資料P9	a-1	III				
				a-2	III				
				a-3	III				
				a-4	III				
				b-1	III				
				b-2	(a)	III			
			(b)		III	IV	1	教授・准教授・講師の増員を評価します。	
			(ウ)教育方法に関する具体的方策						
			資料P10	a-1		III			
					(a)	II	III	3	単位交換(実現のため努力しているが、授業時間の関係で出来ない。) // 単位互換の機会の拡大を評価します。 // 単位互換できる機会を広めた。
				a-2	(b)	III			
						III			
				b-1	(a)	III			
					(b)	III			
					(c)	III	IV	1	学生の自主研究等に対する財政支援を評価します。
				b-2		III			
						III			
				b-3	(a)	III			
			(b)		III				
			b-4		III				
			c-1		III				
			c-2	(a)	III	IV	1	外部実習の継続を評価します。	
				(b)	III				
			(エ)成績評価等の実施に関する具体的方策						
			資料P11	a	(a)	III			
					(b)	III			
				b		III			
				c	(a)	III			
					(b)	III	IV	1	知事賞、学長賞、短期の海外派遣を評価します。
				(オ)卒業教育との連携に関する具体的方策					
			資料P13	a	(a)	III			
					(b)	III			
				b	(a)	III			
					(b)	III			
			イ 大学院教育						
			(ア)入学者受け入れ及び入学者選抜を実現するための具体的方策						
			資料P14	a		III	IV	1	入学者受入に関する全体の努力を評価します。
				b	(a)	III	IV	1	入学者受入に関する全体の努力を評価します。
					(b)	III	IV	1	入学者受入に関する全体の努力を評価します。
				c	(a)	III	IV	1	入学者受入に関する全体の努力を評価します。
					(b)	III	IV	1	入学者受入に関する全体の努力を評価します。
					(c)	III	IV	1	入学者受入に関する全体の努力を評価します。
			(イ)教育理念等に応じた教育課程を編成するための具体的方策						
			資料P15	a-1		III	IV	1	前出の評価と同じ、広く教育スタッフを求め、講義・指導していると思います。
				a-2		III	IV	1	前出の評価と同じ、広く教育スタッフを求め、講義・指導していると思います。
				b-1		III	IV	1	前出の評価と同じ、広く教育スタッフを求め、講義・指導していると思います。
				b-2		III			
				c		III	IV	1	講座枠を越えた講義を評価します。
			(ウ)教育方法に関する具体的方策						
			資料P16	a-1		III			
				a-2		III	IV	1	研究内容の衆知、共有化を計った。
				b		III			
			(エ)成績評価等の実施に関する具体的方策						
			資料P16	a		III	IV	1	国会図書館、ホームでの活用を評価します。
				b		III	IV	2	顕彰努力を評価します。応募者が増加(5名増)、推薦者増(7名)、成果を評価。

大項目	中項目	小項目	大学 自己評価	検証 結果	委員 人数	評価委員の判断理由 評価↑(評価した理由 等) 評価↓(評価しなかった理由、説明不足 等)
ウ 専攻科教育						
資料P17	(7)	(a)	III			
		(b)	III	IV	1	オープンキャンパスを実施し、優秀な人材の確保に努めた。
		(イ)-1	(a)	III		
		(b)	III			
		(c)	III			
	(イ)-2		III	IV	1	開業助産所宿泊実習を評価します。
	(イ)-3		III			
	(イ)-4	(a)	III			
		(b)	III			
		(c)	III			
(イ)-5		III				
(イ)-6		III				
(ウ)		III				
(3) 教育の実施体制等に関する目標と達成するための措置						
ア 適切な教職員の配置等に関する具体的方策						
資料P18	(7)		-			
	(イ)	a	III			
		b	III			
	(ウ)		II	III	1	II変わらず MD-phDコース 情報の収集のみ 他大学でも行っていない。 // 大学評価がIIの理由が不明です。 // 前年同様、情報収集を行った。
イ 教育に必要な設備、図書館、情報ネットワーク等の活用・整備の具体的方策						
資料P19	(7)	a	III	IV	1	教員定員の増加を評価します。
		b	III			
	(イ)		III			
	(ウ)		III			
	(エ)		III			
ウ 教育の質の改善につなげるための具体的方策						
資料P20	(7)		III	IV	1	FDを4回実施するとともに、ホームページで公表するなど、質向上に向けて努力したと思います。
	(イ)-1	a	III			
		b	III			
	(イ)-2		III			
	(イ)-3	a	III			
		b	III			
		c	III			
(4) 学生への支援に関する目標を達成するための措置						
ア 学習相談、助言、支援の組織的対応に関する具体的方策						
資料P21	(7)		III			
	(イ)	a	III			
		b	III			
	(ウ)	a	III			
		b	III			
イ 生活相談、就職支援等に関する具体的方策						
資料P22	(7)	a	III			
		b	III			
	(イ)		III			
	(ウ)	a	III			
		b	III			
		c	III			
ウ 留学生支援体制に関する具体的方策						
資料P23	(7)		III			
	(イ)		III	II	1	安全講習会が日本語のみで行われ、留学生が内容をきちんと理解したかどうかの検証が不十分。
	(ウ)	a	III			
b		III	IV	1	香港中文大学との学生交換を始めた。	

大項目	中項目	小項目	大学 自己評価	検証 結果	委員 人数	評価委員の判断理由 評価↑(評価した理由 等) 評価↓(評価しなかった理由、説明不足 等)	
2 研究に関する目標を達成するための措置							
(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置							
ア 目指すべき研究の方向と研究水準に関する具体的方策							
資料P24	(7)-1	a	III			観光医学講座の取組みを評価します。	
		b	IV			がん診療体系の充実評価点数にVがあれば記入したい。頁34ア-1(イ)再掲。	
資料P25	(7)-2		III	IV	1	近年、約10%以上伸びで成果が上がっている。	
資料P26	(イ)-1	a	III				
		b	III				
		c	III	IV	1	外部委員増員による適正な倫理委員会	
	(イ)-2	a	IV				特定研究助成プロジェクト発表会(基礎医学と臨床医学との連携)。頁28ウ(ア)、頁29エ(ウ)に再掲。
		b	III				
	(イ)-3		IV				基礎教員の定数増及び学内助教(基礎)の制度。頁26ア(ア)に再掲
イ 成果の社会への還元に関する具体的方策							
資料P27	(7)	a	III				
		b	III	IV	1	23回の出前授業	
		c	II	III	1	コンソーシアム和歌山への講師派遣。誠に残念としか言いようがない。	
	(イ)		III	IV	1	寄附講座「みらい医療推進学講座」、「循環器画像診断学講座」の新設。寄附講座、受託研究、共同研究の姿勢を評価します。	
(2) 研究実施体制等の整備に関する目標達成するための措置							
ア 研究体制に関する具体的方策							
資料P28	(7)		IV				
	(イ)	a	III	IV	1	教授の公募。評価します。	
		b	III	IV	3	教授選考によるインタビューの公開 // より良い人材を獲得するため、教授選考過程でプレゼンテーションのみでなくインタビューも公開とした。 // 教授選考過程の透明化、OPEN化を評価します。	
		c	III				
	(ウ)		III	IV	2	特定研究助成プロジェクト(アと同じ)。応募数が2件減少しているが、採択が4件で、1件増加。成果に期待。	
(エ)		-					
イ 研究に必要な設備等の活用・整備に関する具体的方策							
資料P29	(7)		III				
		(イ)		III			
	ウ 研究の質の向上につなげるための具体的方策						
	(7)		IV				特定研究助成プロジェクト。特別研究の助成を評価します。
		(イ)		IV			特定研究助成プロジェクト。特別研究の助成を評価します。
	エ 研究資金の獲得及び配分に関する具体的方策						
資料P30	(7)		III	IV	1	異業種交流会	
		(イ)		III			
	(ウ)		IV			特定研究助成プロジェクト	
	(エ)		III	IV	2	若手研究支援助成(若い人の研究意欲の向上)。前年より採択件数が8件増加の13件、若手研究者に期待。	
	(オ)		III	IV	1	寄附講座「みらい医療推進学講座」の新規開設	

大項目	中項目	小項目	大学 自己評価	検証 結果	委員 人数	評価委員の判断理由 評価↑(評価した理由 等) 評価↓(評価しなかった理由、説明不足 等)
3 附属病院に関する目標を達成するための措置						
(1)教育及び研修機能を充実するための具体的方策						
資料P31	アー1		III			
	アー2		III			
	イー1	(ア)	III	IV	1	研修医5名のアメリカ短期派遣を評価。研修充実・採用の柔軟化を評価します。
		(イ)	III	IV	1	非入局の後期研修1名採用を評価。研修充実・採用の柔軟化を評価します。
資料P32	イー2		III	IV	1	臨床研修病院の17病院に131名の研修医派遣
	イー3		III			
	イー4		III			
資料P33	ウー1		III			
	ウー2		III			
資料P33	エー1	(ア) a	III	IV	1	「地域医療連携わかやまネットワーク」スムーズな退院、転院の支援 47機関78名参加
		b	III			
	(イ)		III			
			III			
	エー2		IV			実習生の受入れ 延9441名(20年度の1.5倍)。実習生受入れ20年度の5割UPを評価します。
(2)研究を推進するための具体的方策						
資料P34	アー1	(ア)	III			
		(イ)	IV			がん診療連携協議会 地域連携バス5本
資料P35	アー2		III			
	アー3	(ア)	III			
		(イ)	III			
資料P36	イー1		III			
	イー2		III			
	ウ		III			
(3)地域医療への貢献と医療の実践を達成するための具体的方策						
資料P37	アー1	(ア)	III			
		(イ)	III			
		(ウ)	II	III	1	e-learning コンテンツは出来ていないが、実際面では行っている。e-learningコンテンツ作成ゼロは淋しい。
		(エ)	III			
	アー2	(ア)	III			
(イ)		III				
資料P38	イー1		III			
	イー2		IV			膠原病、リウマチの診療開始
	イー3		-			
	イー4	(ア)	III	II	1	DPCデータの公表は厚労省でも実施している。遅いのではないのでしょうか。
(イ)		III				
資料P39	イー5	(ア)	IV	III	2	本院での管理計画書が未だ作成されていない。附属病院では昨年指摘された栄養管理計画書を作成していない。
		(イ)	III			
	(ウ)		III			
		(エ)	III			
資料P39	イー6	a	III	IV	1	教育及び研修機能を充実するための具体的方策 エー1(アa)に同じ
		b	III			
	(イ)	III				
資料P40	ウー1		III	IV	3	ドクターヘリの患者搬送 〃/ Drヘリと救急部の日常の活躍を改めて評価します。 〃/ 努力を評価。
	ウー2		III			
	ウー3		-			
	ウー4		IV			腫瘍センターの設置。評価します。
(4)医療安全体制の充実に関する具体的方策						
資料P41	ア		III	IV	1	インシデントからの改善策 ストッパー付き床頭台700台更新 浴室段差の改修
	イ	(ア)	III			地味な努力を評価します。
		(イ)	III			地味な努力を評価します。
ウ		-				
資料P42	エ		III			
	(イ)		III			

大項目	中項目	小項目	大学 自己評価	検証 結果	委員 人数	評価委員の判断理由 評価↑(評価した理由 等) 評価↓(評価しなかった理由、説明不足 等)	
(5)病院運営に関する具体的方策							
資料P43	アー1	(ア)	IV			診断書作成ソフトの導入と診断書クラーク3名の配置。成果を評価	
		(イ)	III				
	アー2	(ア)	III				
		(イ)	III				
	資料P44	イー1	(ア)	III	IV	1	未収金対策専任職員 未収金前年比18.0%減及び571万円回収。未収金は発生させない取組みが必要です。
			(イ)	III			
(ウ)		IV			コード(DPC)分析システムによる適正コーディング		
資料P45	イー2		III				
	イー3		IV			DPCデータ。評価します。	
	イー4		IV			外来クラーク18名導入と紀北分院でのアウトソーシング	
	イー5	(ア)	III				
		(イ)	II	III	3	新病院建築と隣接する場所では当然のこと // 在院日数が前年度より、約4日短縮されています。稼働率はそれとも関連しているものと考えられますので、結果はIIIでよいと思います。 // 在院日数は短縮、病床稼働率は低下しているが、現在、建設中でありやむを得ない。	
(6)附属病院							
		ア	III				
		イ	III				
4 地域貢献に関する目標を達成するための措置							
資料P46	(1)-1	ア	III				
		イ	IV			小児成育医療支援学講座	
		ウ	III				
資料P47	(1)-2		III	IV	3	ドクターヘリの患者搬送 // Drヘリと救急部の日常の活躍を改めて評価します。 // 努力を評価。	
			III				
	(1)-3		III				
	(1)-4		-				
	(1)-5		IV			県がん診療連携拠点病院の活動	
資料P48	(2)-1		II	III	1	コンソーシアム和歌山	
			III	IV	1	寄附講座「みらい医療推進学講座」、「循環器画像診断学講座」の新設	
	(3)-1		III				
資料P49	(4)-1	ア	III				
		イ	III				
	(4)-2		III	IV	1	23回の出前授業	
	(5)-1		III				
(5)-2		III			観光医学講座ツアーを評価します。		
5 産官学の連携に関する目標を達成するための措置							
資料P50	(1)		IV			株式会社紀陽銀行と共催による「異業種交流会」。評価します。	
			IV			評価します。	
			III				
	(4)	ア	III				
	イ	II	III	1	コンソーシアム和歌山(前述)		
6 国際交流に関する目標を達成するための措置							
資料P51	(1)		III				
			III	II	1	安全講習会が日本語のみで行われ、留学生が内容をきちんと理解したかどうかの検証が不十分。	
			III	IV	2	香港中文大学との学生交換を始めた。学生の交流の充実を評価します。	
資料P52	(4)		III	IV	1	香港中文大学との学生交換を始めた。	
			-				

大項目	中項目	小項目	大学 自己評価	検証 結果	委員 人数	評価委員の判断理由 評価↑(評価した理由 等) 評価↓(評価しなかった理由、説明不足 等)	
第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置							
1 運営体制の改善に関する目標を達成するための措置							
資料P53	(1)	(1)-1	III				
		(1)-2	III				
	(1)-3	ア	III				
		イ	III				
資料P54	(1)	(1)-4	III				
		(1)-5	-				
		(1)-6	III				
		(2)-1	III				
	(2)-2	III					
2 教育研究組織の見直しに関する目標を達成するための措置							
資料P55	(1)	(1)	III				
		(2)	III	IV	2	永年出来なかった事を、今年度初めて行った。今後、更なる発展を望む。委員会の廃止は困難もあるが、思い切って11委員会を廃止した点は評価できる。	
3 人事の適正化に関する目標を達成するための措置							
資料P56	(1)	(1)-1	-				
		(1)-2	III				
		(1)-3	III				
		(1)-4	ア	III	IV	1	教授、准教授の公募と選考の公開
			イ	III	IV	3	教授、准教授の公募と選考の公開 // より良い人材を獲得するため、教授選考過程でプレゼンテーションのみでなくインタビューも公開とした。 // 教授選考過程の透明化、OPEN化を評価します。
			ウ	III			
資料P57	(1)-5	ア	III	IV	1	育児休業からの復帰取組みを評価します。困難な作業ですが、努力していただきたい。	
		イ	III				
		ウ	II	III	2	アンケート調査はしていないが、充分、事前に調査面接。育児部分休業など、裁量労働制を導入し、職員の労働環境に配慮している。	
		エ	III				
(1)-6	III						
(2)-1	III						
(2)-2	III						
4 事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置							
資料P58	(1)	(1)	III	IV	1	理事長直轄の監査室の新設。 // 積極的な組織変更を評価します。 // 人員には制約があるが、監査室の設置と役割に期待	
		(2)	III			積極的な組織変更を評価します。	
第4 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置							
1 外部研究資金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置							
資料P59	(1)	(1)	III	IV	1	異業種交流会 P29(ア)再掲	
		(2)	-				
		(3)	-				
		(4)	ア	III			
			イ	III			効果がなかなか上げにくいところですが、努力を継続して下さい。
資料P60	(5)	ア	III				
		イ	II	III	3	新築現場ではやむを得ない。 // 在院日数が前年度より、約4日短縮されています。稼働率はそれとも関連しているものと考えられますので、結果はIIIでよいと思います。 // 在院日数は短縮、病院建設中であり、やむを得ない。	
2 経費の抑制に関する目標を達成するための措置							
資料P61	(1)	ア	III				
		イ	III	IV	1	前年は4%、今年は9%削減。成果を評価。	
		(2)	II	III	1	手術件数減少、医療の先進化による医療機器の高騰	
	(3)	(3)	IV			外来クラークとアウトソーシング P44 イーア 再掲	
		(4)	III	IV	1	職員の経営観念の向上による	
資料P62	(4)	III	IV	1			
3 資産の運用管理の改善に関する目標を達成するための措置							
	(1)		III			不確実な経営環境にあつて、手堅い資金運用を心がけるべきと考えます。	

大項目	中項目	小項目	大学 自己評価	検証 結果	委員 人数	評価委員の判断理由 評価↑(評価した理由 等) 評価↓(評価しなかった理由、説明不足 等)
第5						
1 評価の充実に関する目標を達成するための措置						
資料P63	(1)		-			評価ほど難しいものはないと思います。しかし、何らかの基準は必要でしょう。基準をどう定めるか。
	(2)		III			評価ほど難しいものはないと思います。しかし、何らかの基準は必要でしょう。基準をどう定めるか。
	(3)		-			評価ほど難しいものはないと思います。しかし、何らかの基準は必要でしょう。基準をどう定めるか。
	(4)		III			評価ほど難しいものはないと思います。しかし、何らかの基準は必要でしょう。基準をどう定めるか。
	(5)		II			検討のみ、但し、他大学でも未実施のところ多し。評価ほど難しいものはないと思います。しかし、何らかの基準は必要でしょう。基準をどう定めるか。
2 情報公開等の推進に関する目標を達成するための措置						
資料P64	(1)-1	ア	III	IV	1	更新回数が倍増。(前年比+367件)
		イ	III			
	(1)-2		III			
	(1)-3		III			
資料P65	(2)		III	IV	1	前年に比し増加、施設設備の有効利用に寄与
第6 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置						
1 施設及び設備の整備・活用に関する目標を達成するための措置						
資料P66	(1)-1	ア	III			
		イ	(7)	III		
資料P67	(1)-2	(イ)	III			
			III			
	(1)-3		III			
	(1)-4		III			
	(2)		III	IV	1	広報活動、出前講座に対する努力を評価。
2 安全管理に関する目標を達成するための措置						
資料P68	(1)-1		III			
			III			
			III			
	(2)	ア	III			
		イ	III			
3 基本的人権の尊重に関する目標を達成するための措置						
資料P69	(1)		III			
	(2)		III			
	(3)	ア	III			患者の苦情は経営にとってダイヤモンドであるという視点が大切と考えます。1500の苦情、意見が半減したとき、病院は見違えるような運営をしていると考えます。
		イ	III			患者の苦情は経営にとってダイヤモンドであるという視点が大切と考えます。1500の苦情、意見が半減したとき、病院は見違えるような運営をしていると考えます。
	(4)		III			
資料P70	(5)		III			
	(6)		III	IV	1	外部委員増員による適正な倫理委員会